

□練習する! □申込む! □合格する♡

数学検定申込×切 8月25日(火)

2020年□9/26(土)□受付会場□石川塾

わかる・できる (やすい) 講座案内

～国語専科/算数専科/数学専科～

<ひと月(4回)1講座 1回 1時間 500円コース> ●4年生以上中学生まで ●3年生以下お母さんと一緒

■8月:和歌創作講座 ■9月:名作クイズ講座 ■10月:親子三代嵐の中の灯台講座 ■11月:名作あらすじ講座 ■12月:1mom=3.75g 単位換算講座…その他「リレー物語講座」など面白い講座が登場します

▲ひと月(4回 2000円)ごとにテーマ講座が変わります。(お母さんと一緒でも♡ひと月4回 2000円です)

友達や兄弟姉妹を誘ってどうぞ。御希望の方は、塾長まで。TEL:042-710-5768

歴史的かなづかひ②

『私の国語教室』/福田恆存(ふくだ・つねあり)/文春文庫

「金色(こんじき)の ちひさき鳥の かたちして いてふちるなり 夕日の岡(おか)に」 与謝野晶子(よさの・あきこ)
石川塾の朗読暗唱で誰もが始めに習う与謝野晶子の短歌です。「ちひさき」と書いて「ちいさき」と、「いてふ」と書いて「いちよう」と読みます。「てふてふ」なら「ちょうちょう」と読みます。どうしてでせうか。なぜそう読めるのでせうか。これから日本語の<歴史的かなづかひ>を皆さんと一緒に辿り遡っていきます。

「現代かなづかい」第二の例外は、「お列」長音の書きかたであります。「あ・い・う・え」四列の長音は、それと同音の母音を付けて表し、「おかあさん」「しいのき」「つうしん」と書くことになってあります。「お列」長音は「お」の場合と「う」の場合がある。その差別は、歴史的かなづかひでは「ほ」と書いてきたものを「お」とすることになってあります(例外)。長音とは考へず、母音が二つ重なったものと考え。歴史的かなづかひの知識を必要とするといふことになります。現代かなづかいでは、例外以外の「お列」長音はすべて「う」を付けて書くことを本則とする。

【「お列」例外・十八語】おおやけ(公)/こおり(氷)/ほのお(炎)/おおせ(仰せ)/おおきい(大きい)/とおい(遠い)/おおい(多い)/とおる(通る)/こおる(凍る)/とどこおる(滞る)/もよおす(催す)/いきどおる(憤る)/おおかみ(狼)/ほおずき/おおむね/おおう/しおおす/(以下福田追加、「おおかた」「ほおかぶり」)(第一章「現代かなづかい」の不合理)(続く)

▲プチ情報:町田第一中学校2年生一月期の期末試験に清少納言「枕草子」の冒頭春夏秋冬が出題されました▲

読解力をつける②

『AIに負けない子どもを育てる』/新井紀子/東洋経済

「うちの子は文章題が苦手」「読解力がなくて」と嘆くお母さん方が多い。算数・数学は概ね「計算」「図形」「文章題」の3つから成り立っている。どうして文章題が苦手なのだろう。なぜ解らないのだろう。一口に問題文の語彙文章文脈の意味内容が分からないからというが…多岐に渡る。一つに単位がある。「1(いち・ひとつ)」にはいくつかの意味がある。グラフ図表の見方がある。「は・が」「の」「を・に」など助詞の使い方で比べるものが変わるなど…。

文章を正しく読むためには、字が読め、十分な語彙量に加え、文の作り(構文)を正しく把握したり、「と」「に」「のとき」「ならば」「だけ」など、機能語と呼ばれている語を正しく使えるようにしなければならない。小学3・4年生あたりで、機能語の部分を正確に読む子とそうでない子の差が生まれはじめます。機能語を正確に読みこなせないと教科書を読んでもぼんやりとしか意味がわかりません。すると、暗記やドリルに頼るようになります。そういう生徒は、キーワード群を捉えて読む AIと同じように、「AI読み」をするようになる。AI読みでは、新しい知識を得るための文章(教科書)を正確に読むことは難しい。AI読みでは乗り切れない科目が、数学です。数学の教科書に出てくる語彙は他の科目に比べてとても少ない。文章の長さは短く、構文は単純。ですから、機能語が正確に読めていないという以外に、数学の教科書を読めない理由が見当たらない。RSTで推論・イメージ同定・具体例同定(理数)の成績が振るわない受験者はその可能性が高いのではないかと思います。

誰もが、誰かをねたんでいる。誰もが、誰かからねたまれている。この2つの文は「同義」でしょうか。

RSTでいうところの「イメージ同定」の能力が求められます。実はこの文章と同義になる(自然な)受動態文は「ない」というのが正解なのです。(第2章「読める」とはなんだろう 正しく「読む」ために必要なこと/AI読みでは、AI人材にはなれない)(続く)